

## 令和5年漁期はまとびうお数量目標（案）

令和5年の数量目標（案）については、21万尾とする。

（現 状）

- （1）令和4年漁期の実績は約1.6万尾（数量目標＝21万尾、消化率＝7.6％）である。
- （2）「令和5年漁期のとびうお流し刺網漁業への着業意向」の調査結果は「9隻」で、令和4年の「10隻」を1隻下回った。
- （3）令和5年漁期のABCは約2.9万尾と算出され、令和4年漁期の6.0万尾と比較し減少した。

（理 由）

- （1）資源状況及び来遊状況は海洋環境の影響を大きく受けているため、年変動が大きい。
- （2）漁獲機会があれば地元の操業を確保すべきという社会的・経済的要因を考慮。
- （3）令和5年1月1日からの当初数量目標を、現行の水準を上回らない数量として、令和4年と同様の21万尾とする。
- （4）各種調査結果及び漁獲状況等を勘案し、必要に応じて漁期中の数量目標の見直しを行うこととし、引き続き資源回復に向けて検討を重ねる。